

北日本造船(株)の事業基盤強化計画(抜粋)

企業概要

- ケミカルタンカーや冷蔵運搬船を主力とする造船会社として、高度な設計力と品質管理体制を強みに事業を展開。設計から建造まで一貫体制を構築し、八戸・久慈の両拠点で安定した生産基盤を確立している。
- 国際環境規制の強化や人手不足、資機材価格高騰など事業環境が大きく変化する中、環境対応型高付加価値船への転換と、生産性向上を両立する持続可能な生産体制の確立を目指す。



計画の概要

- 国際的な環境規制強化を踏まえ、メタノール・アンモニアを燃料とする二元燃料船の開発・建造を推進する。また、同社が実績を有するゲートラダーや風力推進装置等を組み合わせることにより、環境負荷低減と燃費性能向上を両立した高付加価値船の展開を図る。
- スtockヤード拡張や協働ロボット導入等の設備投資を実施し、生産方式の高度化・省人化を推進することで、環境対応型船舶への転換と生産性向上の両立を実現する。



<計画実施期間> 2026年4月～2031年3月

<実施場所> 北日本造船(株)本社工場・豊洲工場・北沼工場(青森県八戸市) ケミカルタンカー
久慈工場(岩手県久慈市)